



地方独立行政法人

堺市立病院機構

SAKAI CITY HOSPITAL ORGANIZATION

平成28年度 業務実績報告及び決算の概要について

堺市立病院機構の概要①

法人の名称及び所在地

法人名 地方独立行政法人 堺市立病院機構 （平成24年4月1日設立）
所在地 堺市西区家原寺町 1 丁 1 番 1 号（平成27年7月1日より）

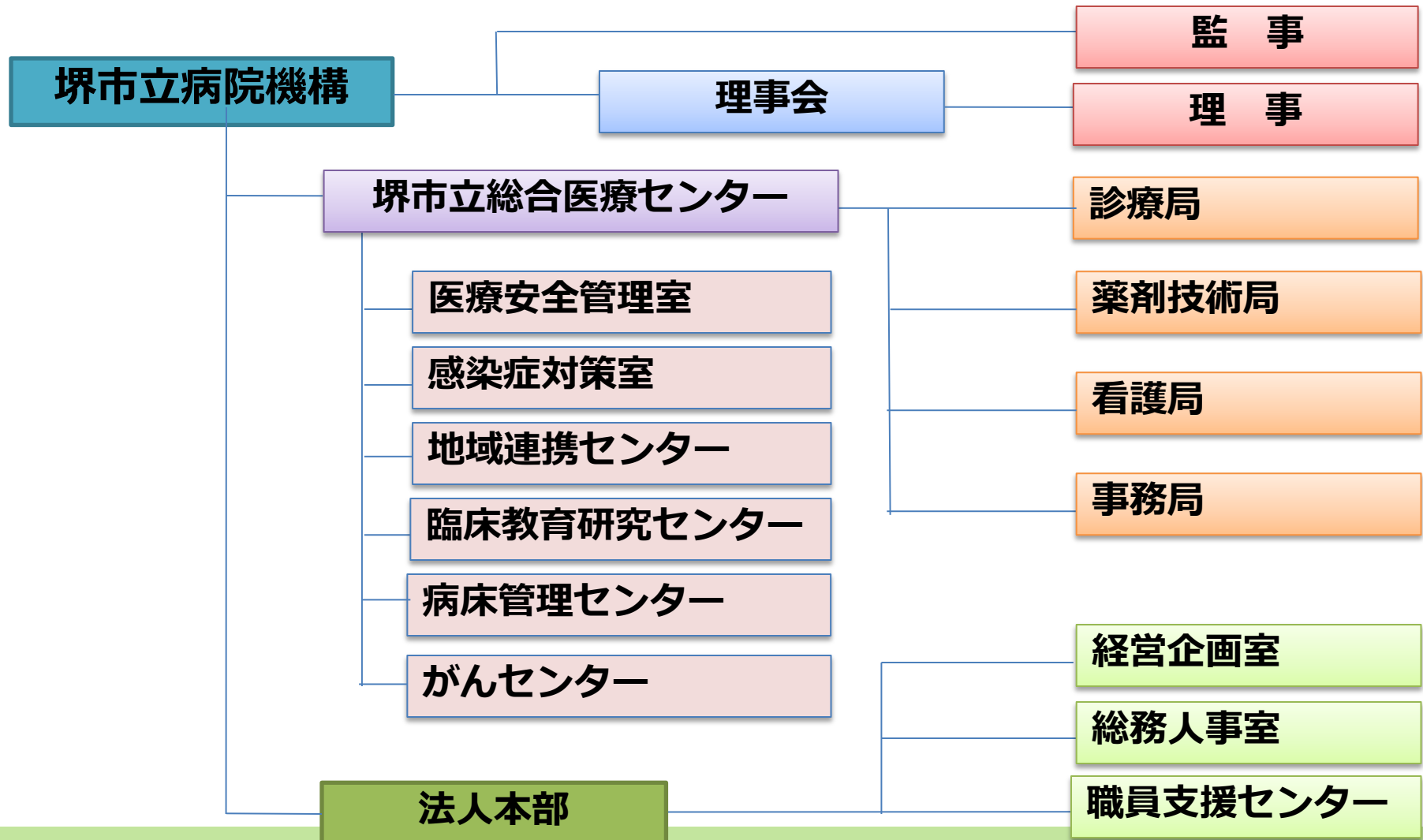
法人の役員

平成29年3月31日現在

役職	定数	氏 名	任用区分	備 考	任命者
理事長	1名	門田 守人	常勤	（医師）	市長
副理事長	1名	横田 順一郎	常勤	（医師）	理事長
理事	5名以内	花房 俊昭	常勤	院長	
		寺口 俊一	常勤	法人本部長	
		谷口 孝江	常勤	看護局長	
		堀畑 好秀	非常勤	経営有識者	
		高杉 豊	非常勤	医療有識者	
監事	2名	中島 馨	非常勤	弁護士	市長
		伊藤 一博	非常勤	公認会計士	

堺市立病院機構の概要②

平成29年3月31日現在



堺市立総合医療センターのコンセプト



効率的な
病院経営

救急医療の
充実

災害に強い
病院



堺市立総合
医療センター

高度専門
医療の提供

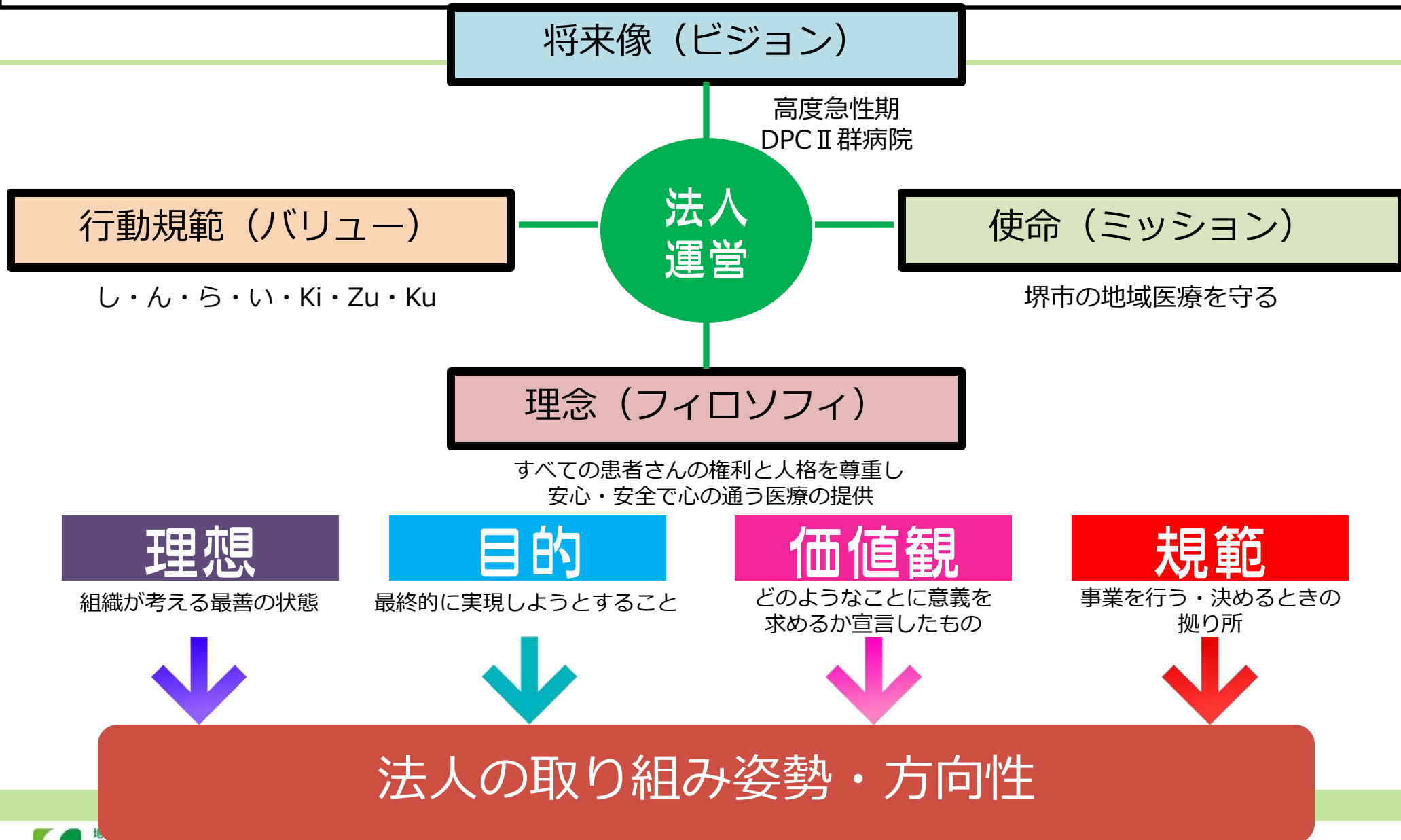


患者に優しい
医療の提供

地域の
医療機関
との連携



第2期中期計画における法人運営の考え方



第1期中期計画

第2期中期計画における法人の取り組み姿勢・方向性

し・ん・ら・い・Ki・Zu・Ku

Next! 南大阪で1番輝く病院

信医

(し・ん・ら・い・Ki・Zu・Ku 医療)

×

しん医

新医

ワンダフル

次世代の医療提供体制の創造
二次医療圏で他を先導する病院

伸医

スキルフル

治療成績、医療の質を評価して改善
患者、医療機関に評価される病院

心医

ハートフル

医療提供、サービス提供で他を置き去り
優秀な人材が育ち・集う病院

真医

パワフル

蓄積した知識・技術を十二分に発揮
他地域から注目される病院

V字
回復

リカバリー

新病院移転を成功させ、病床の早期フル稼働
地域に信頼され続ける病院

人への投資：信財

質の向上：人財

経営基盤の安定化：金財

自立性、機動性、透明性を活かした法人経営

24年度
ホップ

25年度
ステップ

26年度
ジャンプ

27年度

28年度

29年度

30年度

31年度

計画通りの収支

最小限の赤字

単年度の黒字

収入の拡大

収益の拡大



地方独立行政法人

堺市立病院機構

SAKAI CITY HOSPITAL ORGANIZATION

平成28年度 業務実績報告

平成29年
第1回 評価委員会

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
1 市立病院として担うべき医療
(1) 救命救急センターを含む救急医療

目標指標	26年度	27年度	28年度	目標
救急搬送受入件数（件）	8,055	8,584	9,216	8,600

関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
重度外傷応需率（%）	-	83.2	89.2	6.0
重度疾病応需率（%）	-	85.5	88.2	2.7
ウォークイン件数（件）	9,074	11,411	13,925	2,514

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 市立病院として担うべき医療

(1) 救命救急センターを含む救急医療

救急搬送件数の増加

27年度⇒28年度

・ 救急搬送件数

8,584件 ⇒ **9,216件 (+632)**

・ 堺市管内で発生した救急搬送

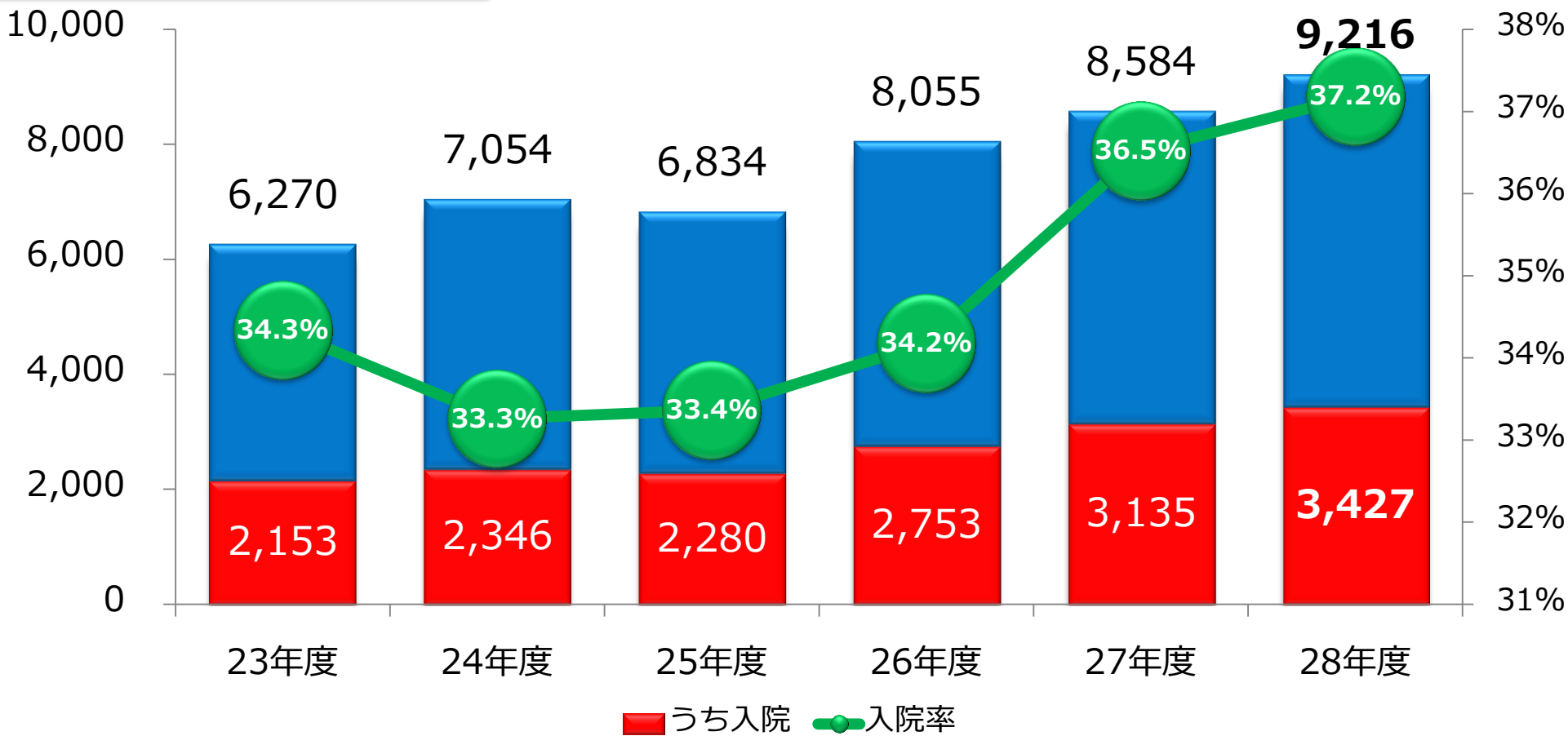
3年連続受け入れトップ

・ 消防隊からの救急搬送応需率

80.3% ⇒ **81.0%**

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 1 市立病院として担うべき医療
 (1) 救命救急センターを含む救急医療

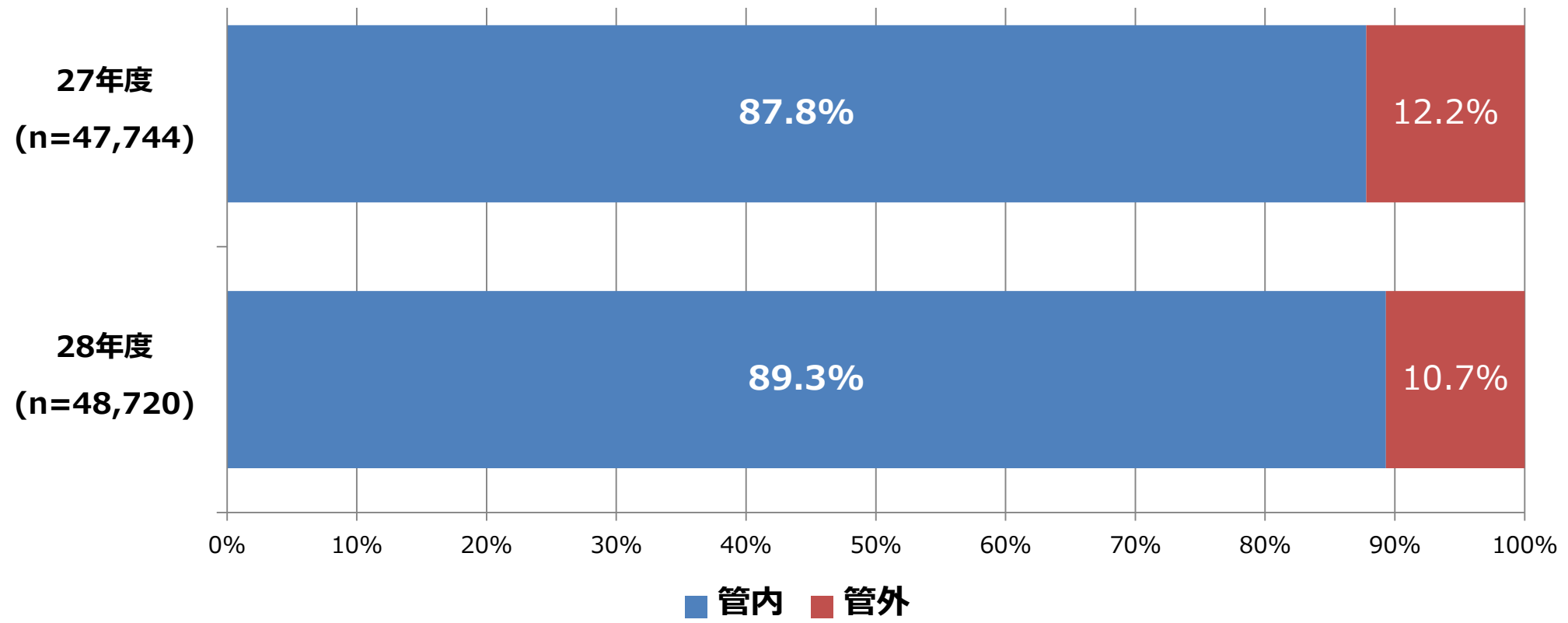
救急搬送受入件数



第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
1 市立病院として担うべき医療
(1) 救命救急センターを含む救急医療

堺市管内の救急搬送割合

堺市管内で発生した救急搬送のうち、堺市内の医療機関に搬送される割合が増加した。

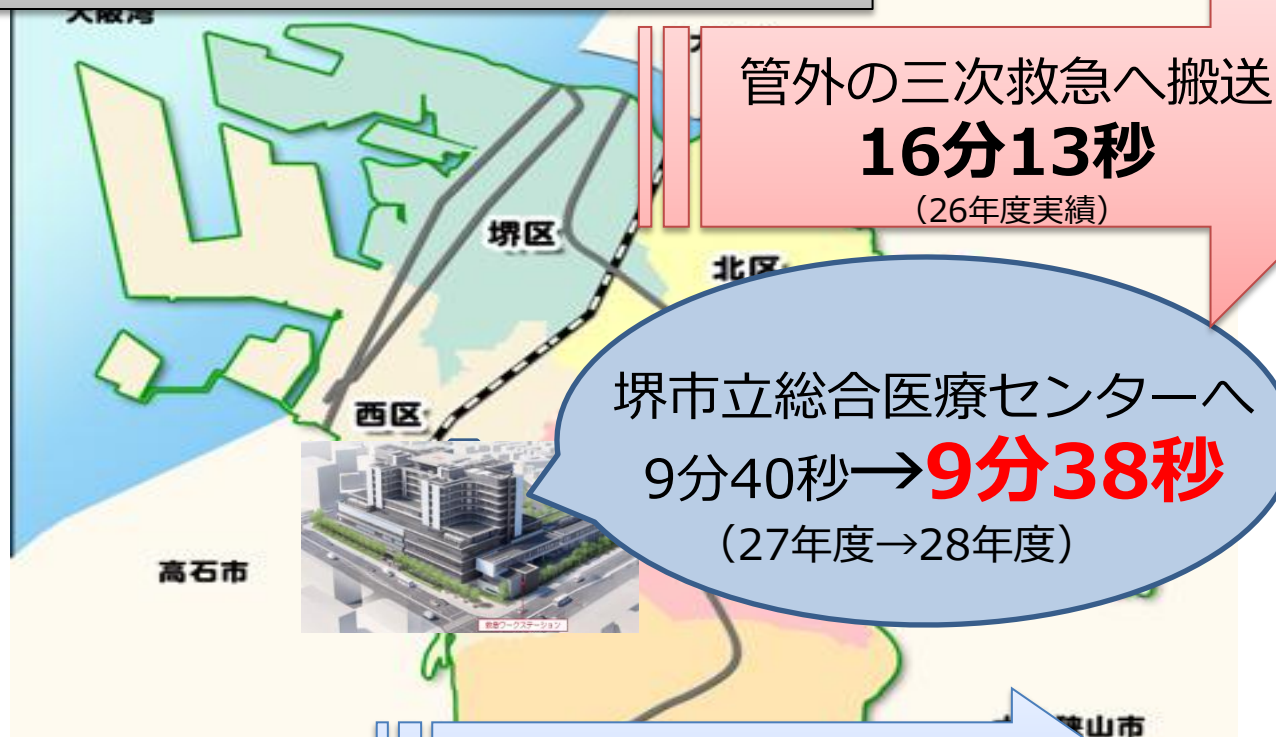


第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 市立病院として担うべき医療

(1) 救命救急センターを含む救急医療

重症患者の搬送時間の短縮



現場出発から医師
引き継ぎまでの平均
所要時間

(現場から直接救命救急センター
へ収容した事案のみ)

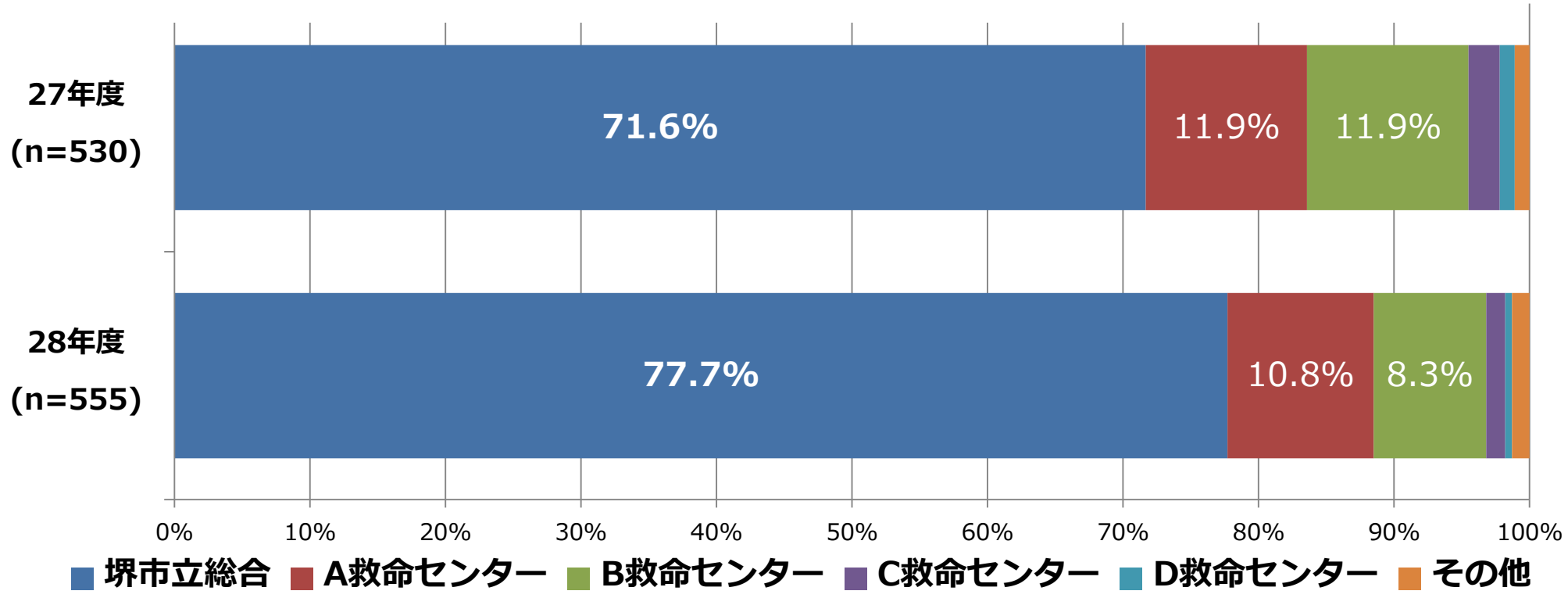
※堺市消防局調べ



救命救急センター設置後
の管外三次救急搬送
13分14秒→**12分07秒**
(27年度→28年度)

堺市管内の三次救急搬送割合

堺市管内で発生した三次救急搬送のうち、当院で対応する割合が増加した。



厚生労働省の救命救急センター充実段階評価

・ 充実段階は最高ランクのA

体制や実績等により充実段階評価A～Cにランク分け

評価項目（抜粋）	当院の実数	評価結果
専従医師数に占める救急科専門医数	16人	<u>14人以上5点</u> ・10人以上4点・6人以上3点
休日及び夜間帯における医師数	6人	<u>4人以上3点</u> ・3人以上2点・2人以上1点
年間に受け入れた重篤患者数（来院時）	1,154人	1,300人以上8点・1,200人以上7点・ <u>1,100人以上6点</u> 1,000人以上5点・（略）・600人以上1点
年間に受け入れた救急搬送件数	8,854人	<u>7,000人以上3点</u> ・4,000人以上2点・1,000人以上1点

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
1 市立病院として担うべき医療
(2) 小児医療・周産期医療

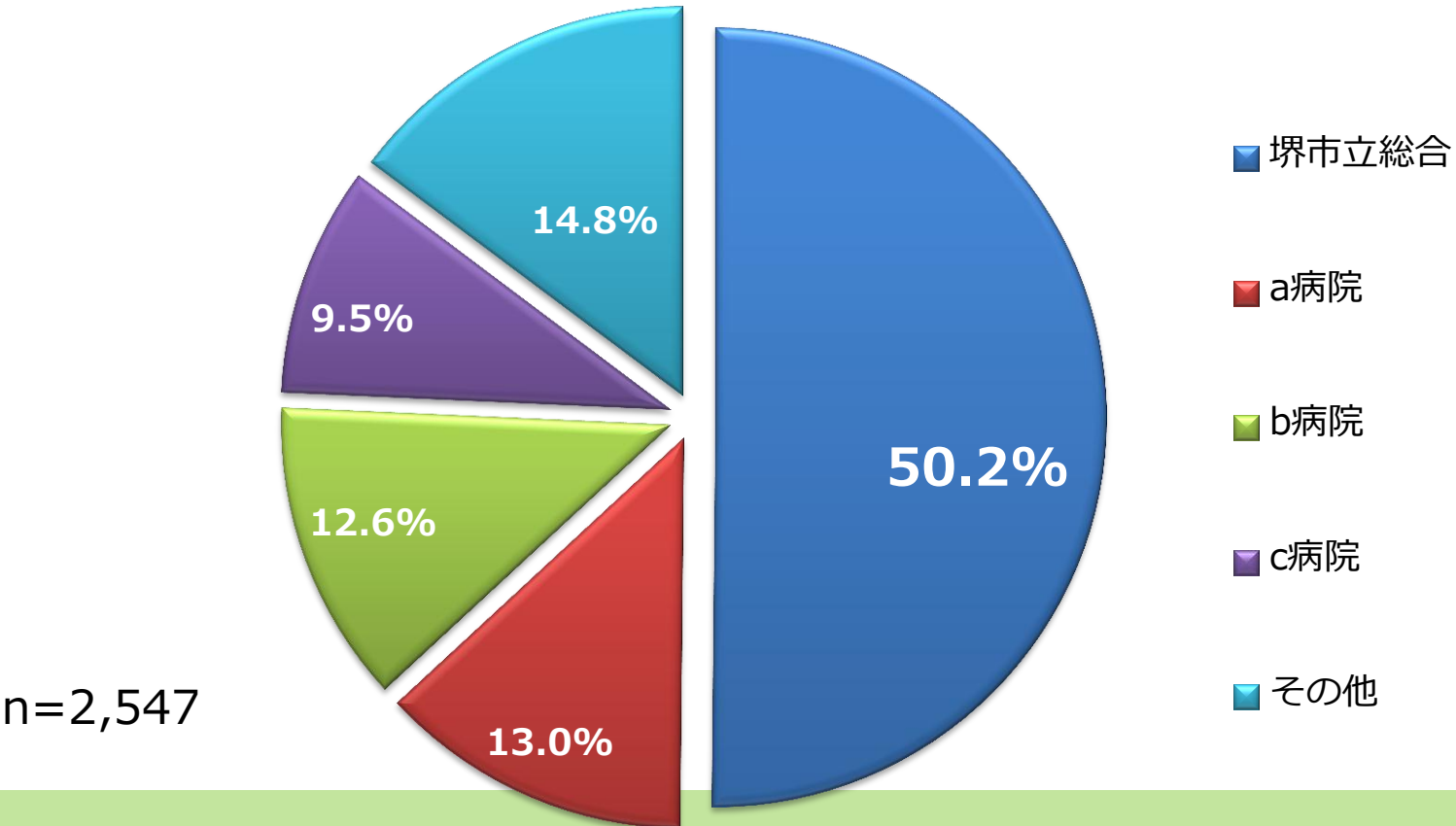
目標指標	26年度	27年度	28年度	目標
小児救急搬送受入件数（件）	1,550	1,385	1,293	1,500
小児救急紹介件数（件）	390	408	405	400
分娩件数（件）	458	364	493	460

- 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 市立病院として担うべき医療
 - (2) 小児医療・周産期医療

堺市管内小児救急搬送受入シェア

28年度

■堺市管内で発生した小児救急の**50.2%**を受け入れ



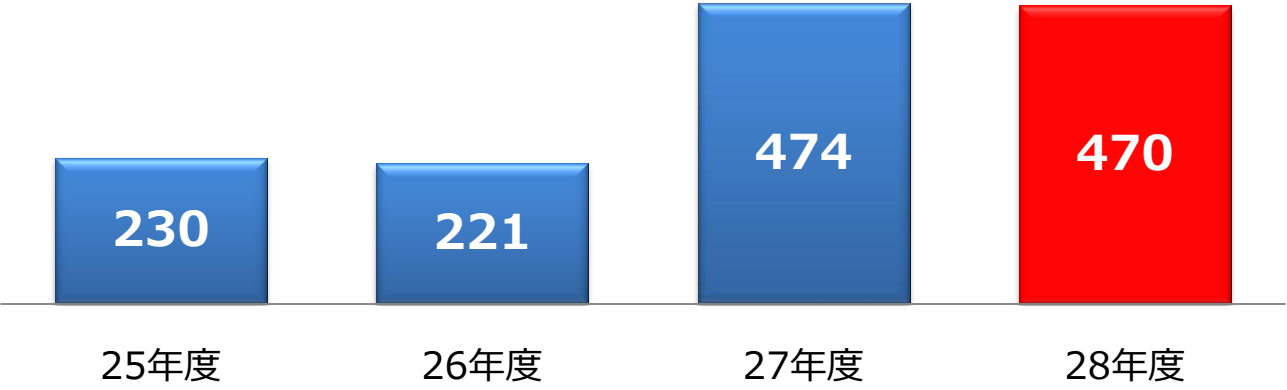
- 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 市立病院として担うべき医療
 - (2) 小児医療・周産期医療

小児外科系疾患の積極的受け入れ

■小児科と救急外科等が連携し外科系疾患や外傷患者を積極的に受け入れ、**児童虐待の早期発見**に貢献。

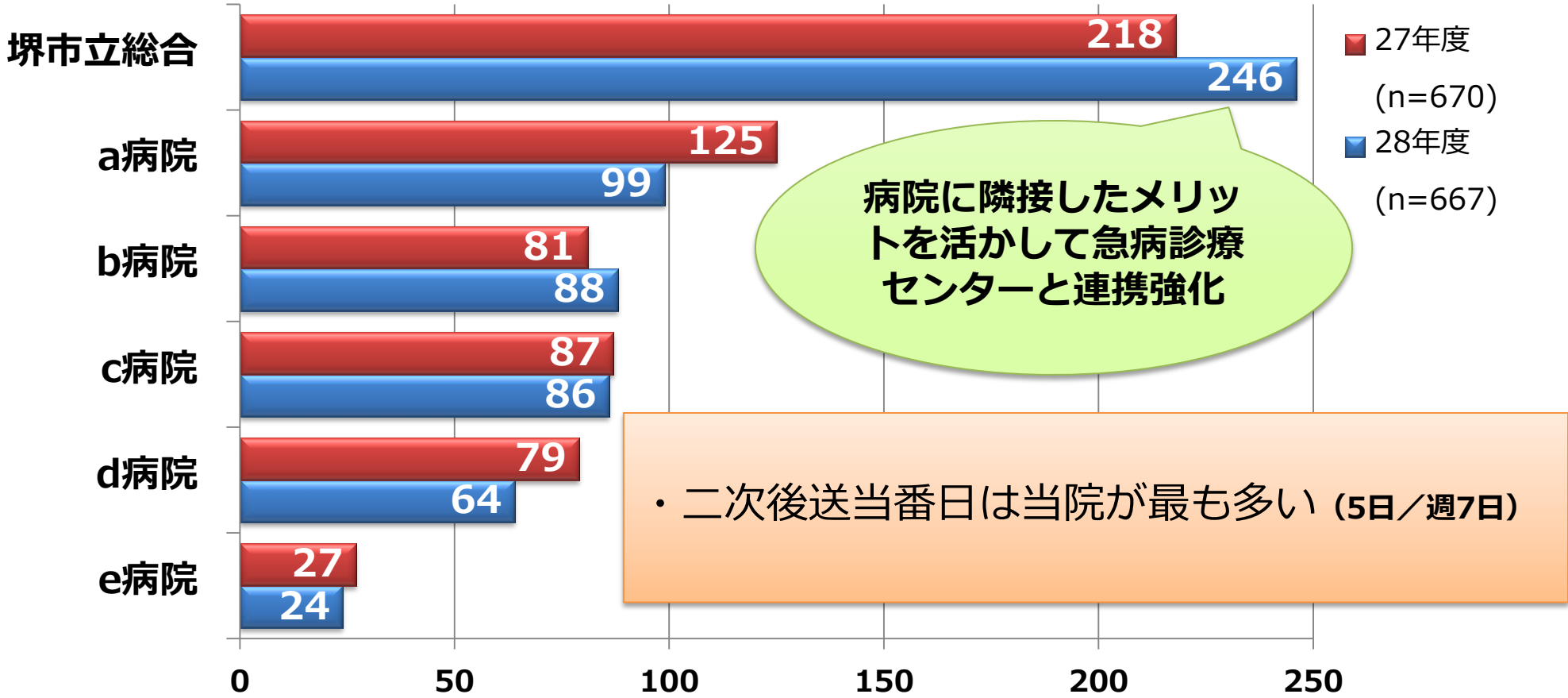
・「子どもの人権を守る委員会(CAPS)」が関西テレビのニュースで特集

小児外因性疾患等救急搬送件数



第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
1 市立病院として担うべき医療
(2) 小児医療・周産期医療

急病診療センターからの二次後送病院別(小児科)転送数



第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
1 市立病院として担うべき医療
(2) 小児医療・周産期医療

周産期母子医療センターとの連携

28年度

■ 総合周産期母子医療センター・地域周産期母子医療センター
と役割分担のもと連携を強化

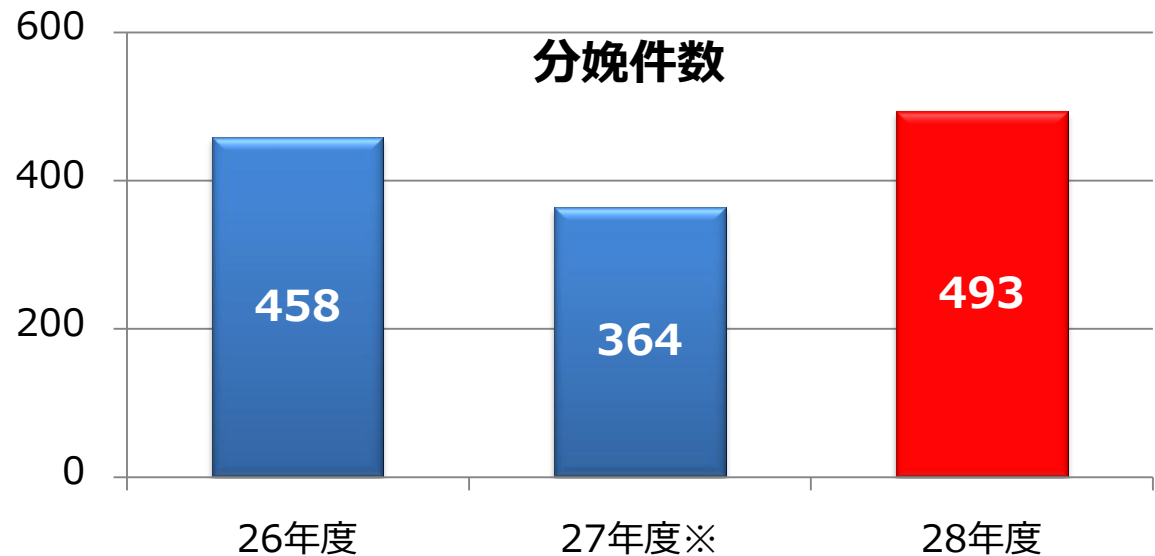


※産科救急・母体搬送を円滑に行うための連絡調整システムで、搬送の必要性が出た場合、依頼施設はコーディネータに連絡し受入病院を探す仕組み

- 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 市立病院として担うべき医療
 - (2) 小児医療・周産期医療

安定した周産期医療の提供

■地域の周産期拠点となる病院と連携強化を図り、
安定的な周産期医療の提供に貢献



■妊娠初期から出産、産後まで助産師が
支援する「**院内助産制度**」の体制を整備し、対応を開始した

※27年度は移転に伴い2ヶ月間の分娩休止期間あり

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 市立病院として担うべき医療

(4) 災害その他緊急時の医療

自己評価

4

関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
災害訓練回数（回）	14	15	25	10
うち院外訓練（回）	9	11	16	5

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
1 市立病院として担うべき医療
(4) 災害その他緊急時の医療

熊本地震でのDMATによる災害医療活動

**発災から8時間後出動！
15時間後被災地到着！**



第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

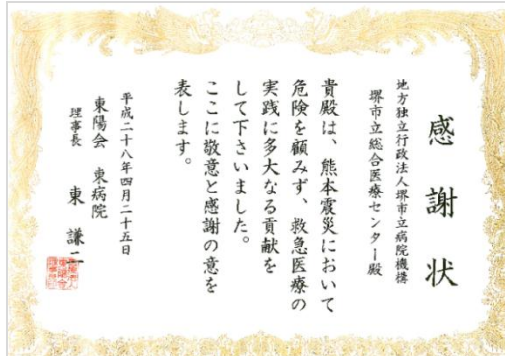
1 市立病院として担うべき医療

(4) 災害その他緊急時の医療

熊本地震における活動

■ DMATによる災害支援

- ・ 熊本市内の民間病院にて医療支援



■ 災害支援ナースの活動

- ・ 避難所で24時間常駐し、地域と連携を図り被災者への生活支援



■ 熊本地震DMAT活動報告

- ・ 堺市長に活動の詳細を報告
- ・ 職員向けに報告会を実施。活動を振り返り、今後の課題等について協議



第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 市立病院として担うべき医療

(4) 災害その他緊急時の医療

総合災害訓練(院内)

- ・ 震度6強の地震を想定した
実動訓練の実施(1月)



【振り返り会での意見】

- ・ 紙の災害カルテの記載方法が分からなかった
- ・ 人員の配置が適切でない箇所があった
- ・ 他部門との情報交換がうまくできなかった
- ・ トランシーバーの感度が悪かった

など

- ・ 訓練で判明したハード・ソフトの問題を次期訓練や実災害時に反映するよう院内で情報共有を図った

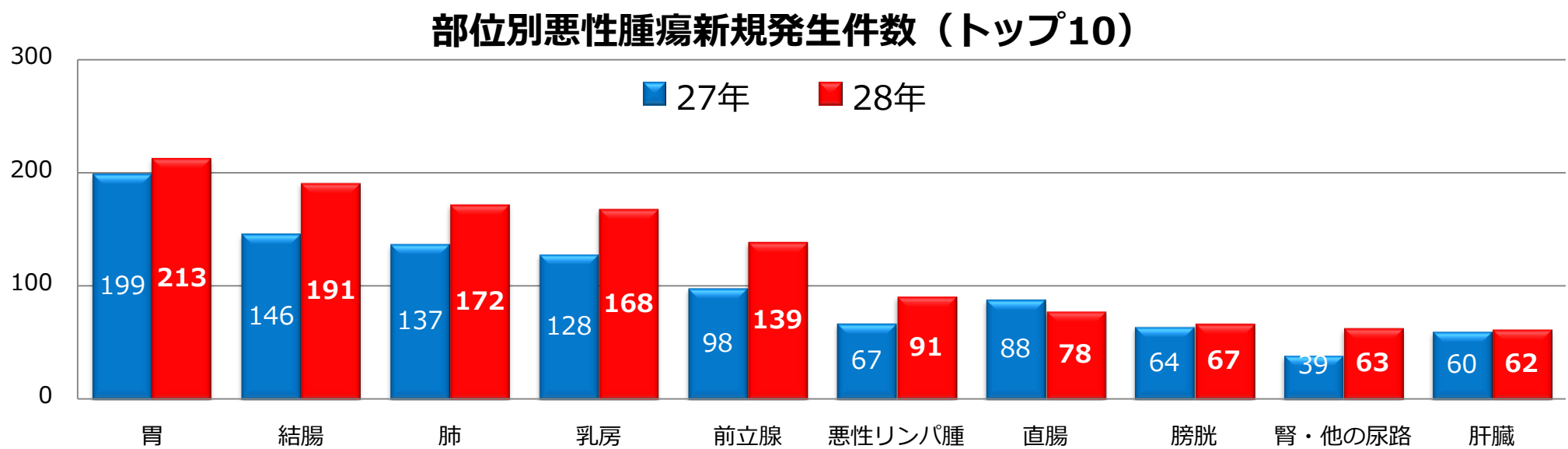
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
2 高度専門医療の提供
(1) がんへの対応

自己評価
4

目標指標	26年度	27年度	28年度	目標
化学療法調製件数（件）	8,635	7,625	8,394	7,700
放射線治療延件数（件）	5,917	3,929	6,510	6,250
悪性腫瘍手術件数（件）	959	1,051	1,227	980
がん登録件数（件）	1,456	1,438	1,758	1,450
関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
がんリハビリ件数（件）	1,019	2,339	2,619	280
がん相談件数（件）	3,542	2,602	4,115	1,513
緩和ケアチーム新規介入件数（件）	319	270	364	94
セカンドオピニオン対応件数 当院から他院（件）	45	37	46	9
他院から当院（件）	17	39	33	▲6

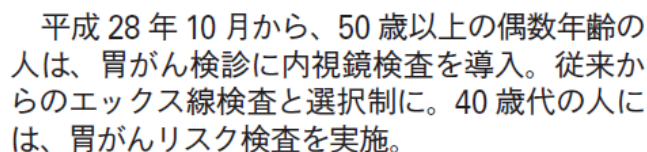
質の高いがん医療の提供

- ・手術、放射線療法、化学療法を効果的に
組み合わせた集学的治療の提供



27年度⇒28年度

- 198名 ⇒ 418名 (+220名)**



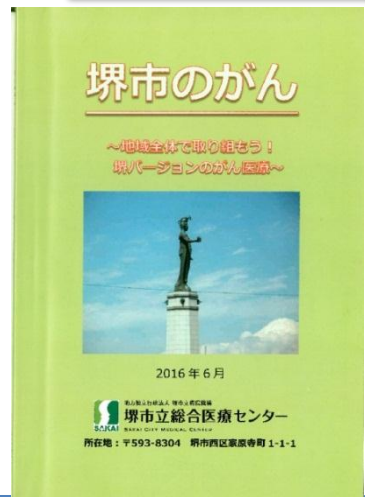
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
2 高度専門医療の提供
(1) がんへの対応

がん情報の公開

・有識者等と共同し**堺市のがん（第2版）**を発刊

堺市がんサポート事業

・**4拠点病院**が共同して様々な活動を行う



堺市がん患者と家族の会「よりそい」講演会
患者・家族と市民の声でつながろう

「2人に1人が「がん」になる時代」といわれるようになりました。身近な病気となった「がん」について、患者や家族、市民の皆さんで、一緒に考えてみませんか？

日時：平成28年8月21日（日）
午後2時～4時（開場：午後1時30分）
場所：堺市総合福祉会館6階 大ホール
(南海高野線 堺東駅 徒歩5分)
※**参加無料**です。どなたでもご参加いただけます。

講演：
がん対策における患者・市民の役割
演者：門田 守人先生（堺市立病院機構理事長）

門田守人先生略歴
がん研究会有明病院院長、がん研究会有明病院名誉院長を経て、現在、大阪大学名誉教授、本年4月堺市立病院機構理事長に就任。また、厚生労働省がん対策推進協議会会長、日本医学会副会長、「キャンサーカフェ」（文化放送）にてパーソナリティを務める。



平成28年度 さかい ぽのぽのカフェ

「さかい ぽのぽのカフェ」は、がん患者さんやご家族が、治療に関連する情報を収集したり、悩みや体験などを語り合うことができる場です。

月	内容
5月10日（火）	抗がん剤治療中の日常生活①
6月10日（金）	抗がん剤治療中の日常生活②
7月15日（金）	談話会（60分）
9月15日（木）	がん治療とスキンケア
10月11日（火）	がん治療と栄養
11月10日（木）	緩和ケア
12月15日（木）	クリスマスイベント
2月10日（金）	がんの治療費と就労
3月10日（金）	がん治療とリハビリ

場 所： がん患者・家族サロン「なやしろ」（2F化学療法室の診察室横）
時 間： 14時30分～15時30分
対 象： 当院のがん患者さんご家族
スケジュール： レクチャー30分 + 談話会30分

ぜひご参加下さい！
<申し込み・問い合わせ先>
申し込み締切日：当日13時前
当院課入付の申請
堺市立総合医療センター
がん科

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
2 高度専門医療の提供
(2) 脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応

自己評価
4

関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
脳卒中クリニカルパス実施件数（件）	28	9	2	▲7
t-PA治療実施件数（件）	0	6	13	7

2 高度専門医療の提供

(2) 脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応

脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応

27年度⇒28年度

■ 脳卒中

- ・ 脳卒中患者数 228人 ⇒ **284人 (+56人)**
- ・ 脳神経外科救急搬送件数 (堺市管内) 718件 ⇒ **883件 (+165件)**

■ 急性心筋梗塞

- ・ 循環器救急搬送件数 (堺市管内) 558件 ⇒ **660件 (+102件)**
- ・ PCI 236件 ⇒ **286件 (+50件)**

■ 糖尿病

- ・ 糖尿病透析予防指導管理料 216件 ⇒ **485件 (+269件)**
- ・ 在宅自己注射指導延べ件数 3,597件 ⇒ **3,973件 (+376件)**

- 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 2 高度専門医療の提供
- (3) 高度専門医療の推進

関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
腹腔鏡（胸腔鏡）下手術件数（件）	619	900	1,105	205
治療実施件数（件）	21	9	13	4
先進医療届け出件数（件）	5	6	7	1

- 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 2 高度専門医療の提供
- (3) 高度専門医療の推進

集中治療室の上位施設基準の取得

・ 特定集中治療室管理料Ⅲ ⇒ I (スーパーICU)

施設基準	ICU管理料Ⅲ	ICU管理料 I
医師	専任の医師	専任のICU経験5年以上の医師2名以上
臨床工学技士	-	専任の臨床工学技士が常時院内勤務
面積	15㎡/床	20㎡/床
重症度	該当患者70%以上	該当患者80%以上



高度専門医療の推進

■手術支援ロボット「ダビンチ」 による腹腔鏡手術

- ・ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術 28年度 **47件**



■内視鏡センターによる内視鏡検査の充実

- ・小腸カプセル型内視鏡検査 28年度 **15件**



小腸カプセル内視鏡

■低侵襲で治療期間が短い放射線療法

- ・**直線加速器による定位放射線治療**の開始
- ・強度変調放射線治療 (**IMRT**)に対応



移植医療の推進

- ・ 脳死下臓器提供の実施：28年度**2例**
- ・ **全職員が一丸**となつて対応



第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供
(1) 医療安全対策の徹底

関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
医療安全研修実施件数（件）	23	86	111	25
医療安全研修参加延人数（人）	2,400	3,959	5,233	1,274

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供
(1) 医療安全対策の徹底

ヒヤリハット報告の徹底

■ 医療安全文化の醸成のため、ヒヤリハット報告の徹底を促した

・ インシデント・アクシデント件数

報告の徹底を促したことにより増加

28年度より合併症の発生
(15件) も集計した

件数	27年度	28年度	増減
インシデント	2,861	3,214	353
アクシデント	28	35	7

・ 職種別インシデント件数

報告の徹底を促したことに
より医師の件数が増加

件数	27年度	28年度	増加率
医師	127	302	+72.6%
看護師	2,246	2,405	+7.1%
コメディカル	438	447	+2.1%
その他	78	95	+21.8%

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供

(2) 医療の質の向上

自己評価

4

関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
クリニカルパス適用率（％）	46.2	44.9	45.5	0.6
クリニカルパス数（件）	202	211	220	9

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供

(2) 医療の質の向上

医療の質の向上

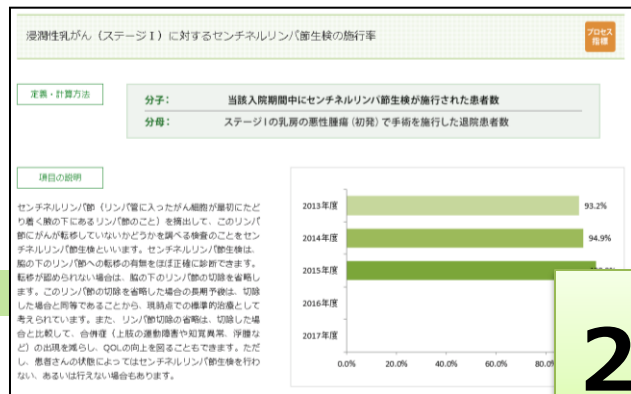
■クリニカルパスの改訂

- ・全国平均在院日数以上のパスの見直しや他院とのベンチマーク
- ・エビデンスが十分でない術後感染予防目的での抗菌剤投与の見直し等、EBMに基づく改訂

	27年度	28年度
パス改訂予定数（件）	36	36
パス改訂実施数（件）	7	14
パス改訂率（%）	19	39

■クリニカルインディケーターの公開

- ・27年度データをホームページで公開
- ・QIワーキンググループの発足



第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供

(5) 患者サービスの向上

自己評価

4

目標指標	26年度	27年度	28年度	目標
患者満足度調査結果 (満足度の割合) 【入院】 (%)	82.0	84.0	-	-
患者満足度調査結果 (満足度の割合) 【外来】 (%)	71.0	85.0	-	-

関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
投書箱に寄せられた件数 (件)	140	413	363	▲50

- 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供
- (5) 患者サービスの向上

自己評価
4

患者サービスの向上

■スマート病院会計の導入

- ・会計待ち時間に対する**ストレス軽減**



■院内イベント

- ・夏祭りやハロウィンイベント、クリスマスコンサートを開催

楽しみと安らぎの空間を提供



第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供
(5) 患者サービスの向上

患者満足度の上昇

※民間委託会社が115の病院に対し同内容を調査

患者満足率	26年度	27年度	28年度
入 院	82.0%	84.0%	89.9%
外 来	71.0%	85.0%	86.2%

患者満足度（抜粋）※	堺市立総合	他院
受付・会計の言葉づかいや対応はいかがでしたか	4.2	4.0
看護師の言葉づかいや対応はいかがでしたか	4.3	4.1
医師の言葉づかいや対応はいかがでしたか	4.4	4.1
医師の病状や検査結果の説明のわかりやすさはいかがでしたか	4.3	4.0
診察待ち時間はいかがでしたか	3.2	3.0
面会時間の設定はいかがでしたか	3.9	3.9
テレビや冷蔵庫の設備はいかがでしたか	3.9	3.9

【いただいたご意見】

- ・皆さんとても親切で、雰囲気も明るく気持ちよく通院させていただいています。
 - ・待ち時間も少なく丁寧に対応していただきました。無料Wi-Fiがとても便利です。
 - ・ストレスを抱える病児に粘り強く優しく接してくださいました。
 - ・飛び込みにも関わらず救急外来で迅速に対応していただき命を救ってもらいました。
 - ・会計が各外来窓口でできるのでとても便利と思います。 など

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

4 地域への貢献

(1) 地域の医療機関との連携推進

自己評価

4

目標指標	26年度	27年度	28年度	目標
紹介率（％）	66.3	66.2	71.6	66.0
逆紹介率（％）	73.0	72.3	74.6	75.0
地域の医療従事者への研修回数（回）	24	26	29	28

関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
地域連携クリニカルパス数（件）	13	13	15	2
地域連携パス適用患者数（件）	249	155	135	▲20
開放型病床利用率（％）	44.1	57.7	77.8	20.1

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
4 地域への貢献
(1) 地域の医療機関との連携推進

登録医総会を初開催



- 登録医98名が参加。**顔の見える関係を築き、より一層地域連携を深める**
- アンケートの結果、87%の出席者が「期待に添う内容」と回答

当日のプログラム

第1回
堺市立総合医療センター 登録医総会

開催日時

平成28年7月16日(土)
16:00～19:00

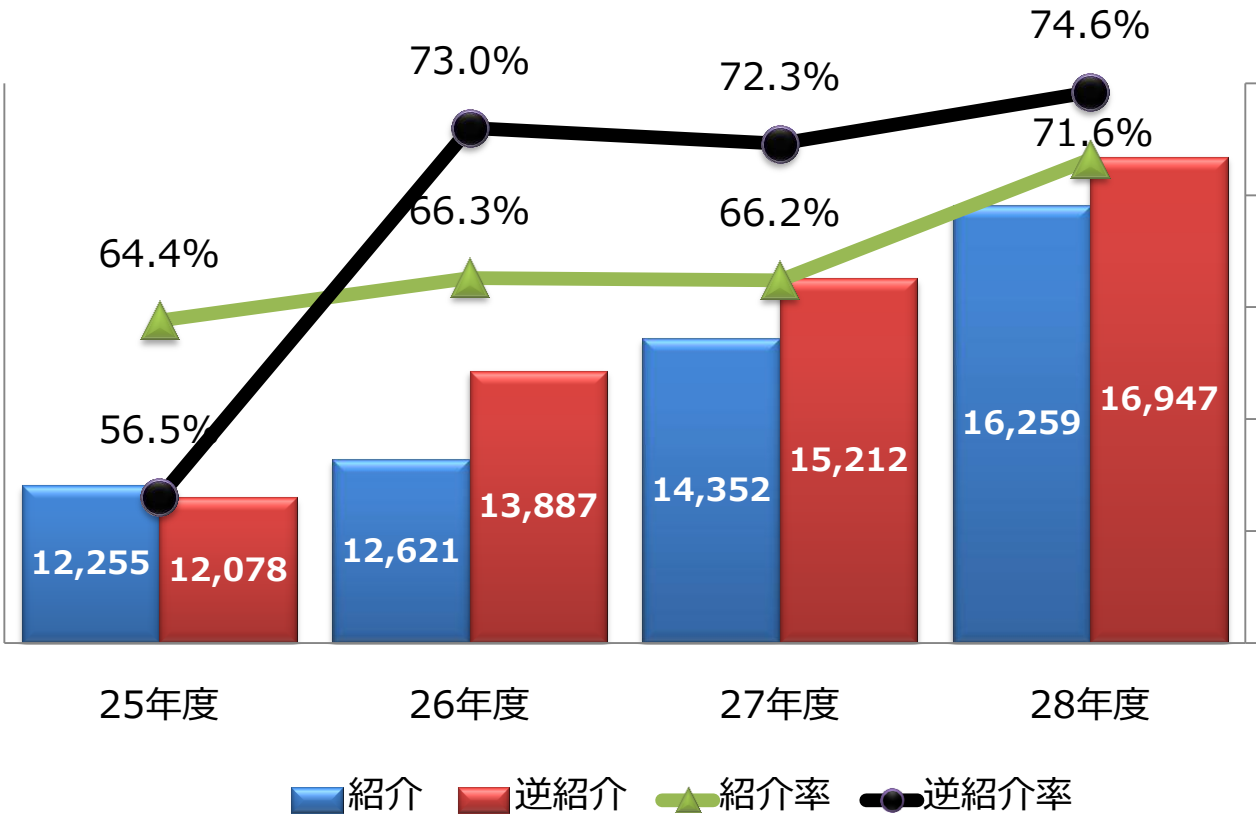
会場

ホテル・アゴーラリージェンシー堺
3階「利休」

- ★開会の辞
- 開会および着任の挨拶 …… 堺市立病院機構 理事長 門田 守人
挨拶 …… 堺市立総合医療センター 院長 花房 俊昭
来賓挨拶 …… 堺市医師会 会長 岡原 猛 様
- ★講演
- ①「堺市立総合医療センターの概要」…… 副院長 河野 譲二
②「当院の外科診療について」…… 外科統括部長 藤田 淳也
③「循環器センターのご紹介」…… 循環器内科部長 塚本 幸資
④「脳脊髄神経センターのご紹介」…… 脳神経外科部長 中島 義和
- ★閉会の辞

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 4 地域への貢献
 (1) 地域の医療機関との連携推進

紹介状・逆紹介状件数



- 紹介状は前年より **1,907件**増加
- 逆紹介状も前年より **1,735件**増加

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
4 地域への貢献
(2) 地域での医療従事者の育成

関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
医学生実習受入人数（人）	28	44	66	22
看護学生実習受入人数（人）	349	315	335	20
薬学部生実習受入人数（人）	20	11	35	24
研修医による学会発表件数（件/人）	2.63	1.73	2.11	0.33
指導医講習会受講済者数（人）	42	10	6	▲4

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
4 地域への貢献
(2) 地域での医療従事者の育成

臨床研修に関する広報の推進

- 臨床研修特設サイトやパンフレットを作成



- レジナビフェアのブース訪問者数が141名→**178名**に増加



第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

4 地域への貢献

(2) 地域での医療従事者の育成

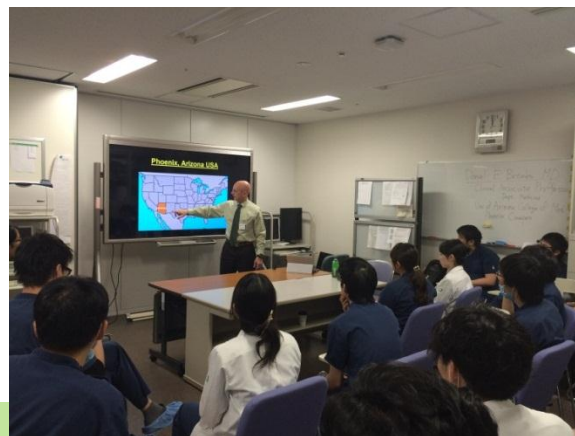
臨床研修の充実

■ 初期研修医の定数増員

- ・大阪府より研修内容が評価され、募集定員数9名から**10名に増員**
- ・41名の応募があり、うち24名が1位希望**10名全員がフルマッチ**

■ 臨床教育の取り組み

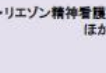
- ・米国ER医を招聘し、レクチャーを実施



第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
4 地域への貢献
(2) 地域での医療従事者の育成

出前でレクチャーの実施

堺市立総合医療センターのスペシャリストたち
出前でレクチャー 5月
地域の看護をいっしょに、緊いできましょう

 慢性疾患看護専門看護師 田中 順也	・糖尿病患者の療養支援 ・腎不全保存患者の療養支援 ・意思決定、代理意思決定に向けた看護支援 ・エンド オブ ライフ の意思決定支援	 精神看護専門看護師 米花 紫乃
 がん看護専門看護師 古谷 緑	・今、堺市で考える“がん医療・看護” ・がん診断後の患者・家族の反応とケア ・がん化学療法と副作用対策 ・造血器腫瘍患者の看護 ・がん患者に活かせる看護理論 —caseを使って考えてみる—	 リエゾン精神看護 ほか
・創傷のケア全般 ・褥瘡のケア ・ストーマケア全般 ・医療者のためのスキンケア ・患者さんのためのスキンケア ・失禁ケア ・メカニズムやオムツのあて方	 皮膚・排泄ケア認定看護師 南部 真里恵	 森本 伸一郎
・エンド オブ ライフ の意思決定支援 ・緩和ケア全般 ・症状緩和	 緩和ケア認定看護師 岩瀬 有星	 濱中 裕子
・乳がんに関すること ・リンパ浮腫 ・若年層のがん ・女性のがんケアなど	 乳がん看護認定看護師 瀧口 佳子	

- ・ 当院の専門・認定看護師が地域の医療施設でスペシャリストとして研修や実技指導を行う
- ・ 褥瘡やHIV等、認識が乏しい疾患についての理解を深めた

専門看護師
3領域・3名
慢性疾患看護専門看護師、がん看護専門看護師等

認定看護師
13領域・25名
緩和ケア認定看護師、乳がん看護認定看護師等

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

4 地域への貢献

(3) 医療、保健、福祉、教育などの行政全般等との連携と協力

自己評価

4

関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
市民公開講座の開催回数（回）	16	27	23	▲4
市民公開講座の参加延人数（人）	1,321	1,370	1,149	▲221

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

4 地域への貢献

(3) 医療、保健、福祉、教育などの行政全般等との連携と協力

市立病院として行政機関との連携推進

- ・ 堺市・堺市医師会等と協働し **COPDに関する講演会を開催**
- ・ 大阪府がん対策貢献事業を活用し、堺市教育委員会協力のもと
院外講師による **がんに関する啓発講演「いのちの授業」を開催**

主催／公益社団法人 大阪府理学療法士会 後援／堺市・一般社団法人 堺市医師会

「知っていますか？COPDのこと」

COPDは 肺の生活習慣病

主に長期間による喫煙が原因で肺に炎症がおこり息が吐き出しにくくなる病気です。

日時 平成28年9月11日(日) 堺市民対象
12:30～17:00(受付12:30) 先着150名

※当日、開催地に暴風警報、避難勧告が発令されている場合
市民公開講座を中止させていただきます。
(当日の確報：簡器 070-6578-7910 府士会ホームページ <http://physiotherapist-osa.or.jp/>)

参加無料

会場 堺市総合福祉会館 6階 大ホール
堺市堺区南瓦町 2-1

内容 1部 『正しく理解しよう
COPD (慢性閉塞性肺疾患) のこと』

講師 堺市立総合医療センター
呼吸器センター長
呼吸器内科 部長 郷間 徹 先生

2部 『明日から実践しよう
禁煙と運動』

講師 りんくう総合医療センター
リハビリテーション科
医療技術科長 藤野 文崇 氏

肺年齢測定 ①12:30～13:30 ②16:00～17:00

問い合わせ先：清恵会三病院 TEL. 072-226-8131 陶器・林 まで
担当：公益社団法人 大阪府理学療法士会 堺市ブロック

鈴木 中人 先生の
「いのちの授業」

～がんを知り、いのちの大切さを学ぼう～

みんなで、自分で、そして家族で、
いのちについて考えよう！

開催日 平成28年11月13日(日)

場所 サンスクエア堺

参加費無料
先着

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 効率的・効果的な業務運営

(1) 自律性・機動性の高い組織づくり

自律性・機動性の高い組織づくり

■全職員を対象に「理事長・院長意見交換会」の開催

- ・理事長・院長と現場のスタッフとのコミュニケーションを強化し、双方の意思統一を図った（全10回・829名）
- ・理事長・院長へのホットラインとして専用メールアドレスを職員に公開し、**直接意見や要望を伝えられる体制を整備**

■全部署に対し「理事長ヒアリング」を実施

- ・事業計画目標に対しての成果や実績を幹部に報告し課題の共有を図った（全12日間・28グループ）
- ・次年度の事業計画目標についても報告を行うことで目標を情報共有するとともに、**PDCAサイクルを実践**した

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

- 1 効率的・効果的な業務運営
- (2) 質の高い経営

タスクフォースの発足

■ 「ムリ・ムダ・ムラ」をなくす

- ・ 経営改革推進委員会を発足

各タスクフォースがミッションに基づき改善活動

TF1
医療材料費の抑制

経営改革推進委員会

TF2
一般管理経費の抑制

TF3
診療報酬の適正請求

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり

(1) 職員のキャリアアップにつながる人事・給与制度の整備

職員のキャリアアップにつながる人事・給与制度

■ 通信教育受講助成制度の推進

自己啓発を含め職員の育成を支援し**17名**が受講

■ キャリアアップ及び資格取得支援

当院で初となる「**特定行為に係る看護師の研修制度**」の受講の支援を行い1名が研修を修了した。

また当院が特定行為研修の**実習協力医療機関**として認定された

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり

(2) 働きやすい職場環境の整備

働きやすい職場環境の整備

■ストレスチェック制度の導入

メンタルヘルス不調の未然防止や職場環境改善のため、

ストレスチェック制度を導入。

高ストレス者には産業医による面談や相談支援するなどし、働きやすい環境を整備した。

■働きやすい環境の整備

看護師の離職率は6.2%で全国平均（10.9%）より低く、

特に新人看護師の離職率は27年度7.7%に対し**28年度は0%**であった

第3 財務内容の改善に関する事項

1 安定した経営基盤の早期確立

目標指標	26年度	27年度	28年度	目標
経常収支比率（％）	100.4	87.3	95.7	94.0
一般病床利用率（％）	89.1	85.1	90.7	91.1
平均在院日数（日）	11.1	10.4	10.0	10.5
新入院患者数（人）	12,919	13,058	14,404	13,835
手術件数（件）	4,144	4,646	5,310	4,600
全身麻酔件数（件）	2,134	2,565	3,071	2,300
後発医薬品採用率（％）	52.0	70.1	90.1	70.0
入院延患者数（人）	156,028	149,498	158,913	159,630
外来延患者数（人）	190,049	191,221	211,700	201,690
窓口負担金の収納率（％）	99.4	99.4	99.4	99.4

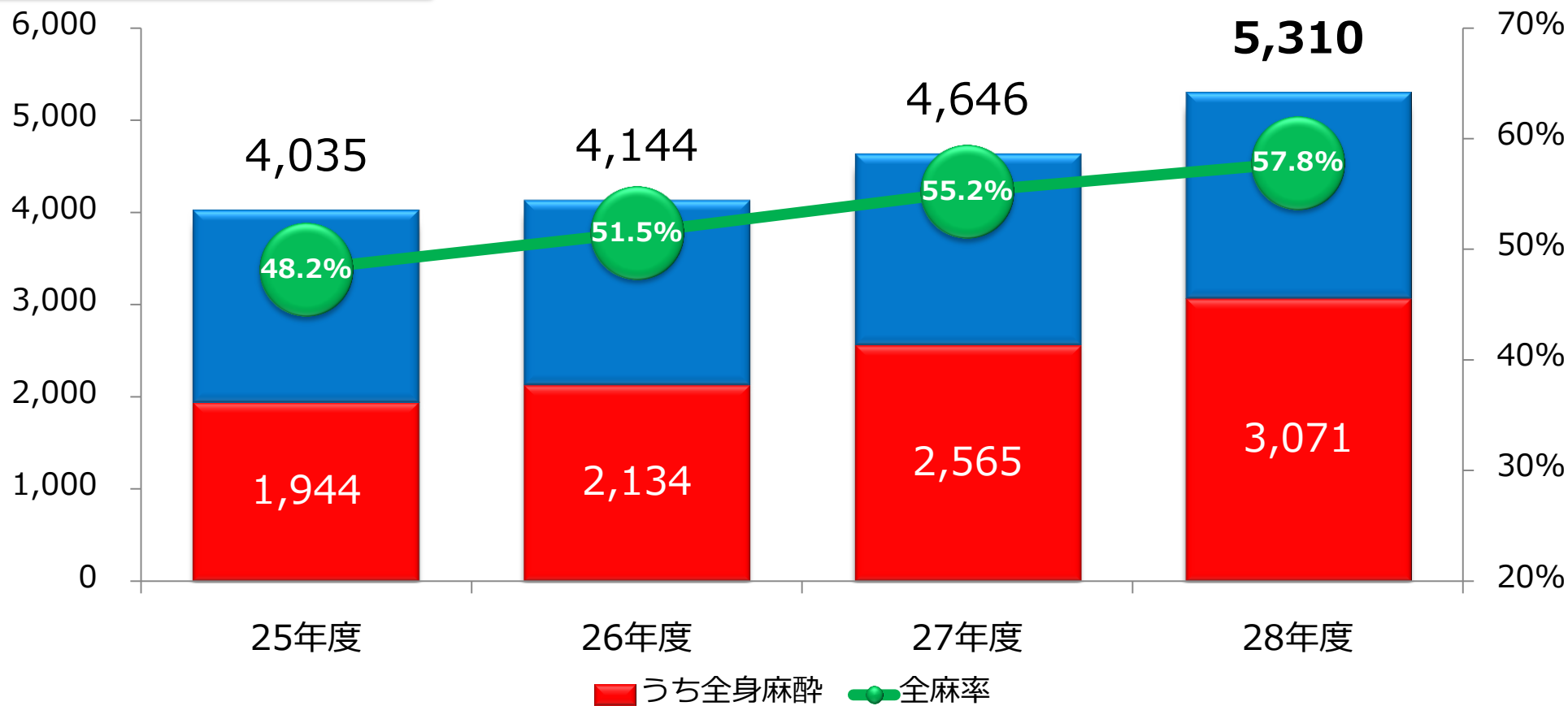
第3 財務内容の改善に関する事項
1 安定した経営基盤の早期確立

関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
患者1人1日当たり入院単価（円）	59,769	65,418	70,880	5,462
患者1人1日当たり外来単価（円）	18,599	20,936	22,200	1,264
給与対診療収入比率（％）	57.0	62.0	57.4	▲4.6
材料費対診療収入比率（％）	26.0	29.6	29.2	▲0.4
経費対診療収入比率（％）	17.8	20.6	16.2	▲4.4

第3 財務内容の改善に関する事項

1 安定した経営基盤の早期確立

手術件数の推移



第3 財務内容の改善に関する事項

1 安定した経営基盤の早期確立

安定した経営基盤の早期確立（収益）

- 手術件数や病床利用率の増加および平均在院日数の短縮等により入院診療単価が大幅に増加

入院単価65,418円⇒**70,880円**

- 手術枠を見直し、効率的な運営を図ることで手術室稼働率が上昇し手術件数は大幅に増加

手術件数：4,646件⇒**5,310件**

第3 財務内容の改善に関する事項

1 安定した経営基盤の早期確立

安定した経営基盤の早期確立（費用）

■ 抗がん剤を含め医薬品について後発品の切り替え推進

後発医薬品品目数 276品目→**330品目（+54）**

後発医薬品採用率 70.1% ⇒ **90.1%**

■ 医療材料費の抑制

NHAの共同購入を実施し**1,070万円の費用削減**

■ 電力自由化の影響、省エネの推進

電力供給会社の変更および外調機の間引き運転やダウンライトの間引き運用など病院運営に支障のないエリアや時間帯でのエネルギー消費量の抑制により**約200万円/月の削減効果**

第 4 その他業務運営に関する重要事項
1 環境にやさしい病院運営

関連指標	26年度	27年度	28年度	前年差
電気使用量（kWh）	8,568,285	11,000,308	10,470,924	▲529,384
ガス使用量（m ³ ）	1,603,489	1,138,376	932,153	▲206,223
水道使用量（m ³ ）	214,906	157,270	142,618	▲14,652



地方独立行政法人

堺市立病院機構

SAKAI CITY HOSPITAL ORGANIZATION

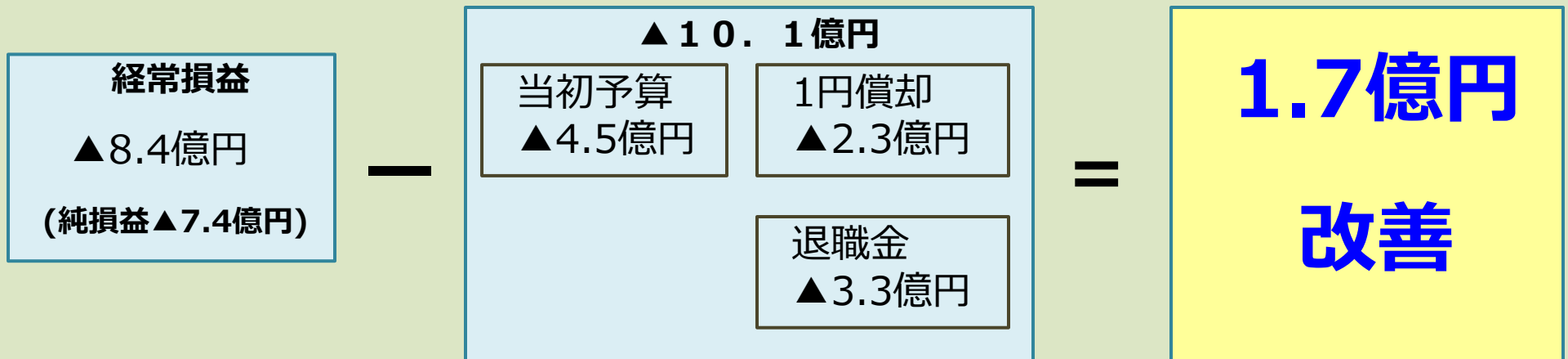
平成28年度 決算概要

平成29年
第1回 評価委員会

平成28年度決算

平成28年度 決算は

予算比 1.7 億円収支改善



改善の主な理由

救急搬送件数の増加、手術件数の増加、平均在院日数の短縮などによる大幅な増収

入院単価 70,880円 (昨年度比5,462円増加)

外来単価 22,200円 (昨年度比1,264円増加)

入院外来収益 159.6億円 (13.3億円/月) ➡ 予算比9.6億円増加 (0.8億円/月)

貸借対照表

資産の部		負債の部	
I 固定資産	229.5億円	I 固定負債	253.4億円
土地建物等	178.9億円	長期債務	205.9億円
器械備品等	49.2億円	退職給与引当金	32.2億円
その他	1.3億円	その他	15.3億円
		II 流動負債	41.2億円
		短期債務	17.5億円
II 流動資産	51.4億円	未払金	16.0億円
現金・預金	17.3億円	賞与引当金	4.5億円
未収金	32.9億円	その他	3.2億円
材料	0.9億円	純資産の部	
その他	0.3億円	I 資本金	3.0億円
		II 資本剰余金	2.7億円
		III 利益剰余金	▲19.6億円
資産合計	280.9億円	負債・純資産合計	280.9億円

計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため合計で一致しないものがある

損益計算書

営業収益	183.9億円
医業収益	164.2億円
運営費負担金・補助金等	19.6億円
営業費用	187.7億円
給与費	91.7億円
材料費	46.6億円
経費	25.9億円
減価償却費	22.8億円
研究研修費	0.8億円
営業損失	▲3.9億円
営業外収益（運営費負担金・目的外・駐車場等）	3.1億円
営業外費用（返済利息・控除対象外消費税等）	7.6億円
経常損失	▲8.4億円
臨時利益（固定資産売却）	1.0億円
当期純損失	▲7.4億円

キャッシュ・フロー計算書

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	A	19.7億円
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	B	▲4.6億円
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	C	▲14.2億円
IV 資金増加額	$A + B + C = D$	0.9億円
V 資金期首残高	E	10.4億円
VI 資金期末残高	$D + E$	11.3億円

I 業務活動は、病院運営に伴う現金の動き

II 投資活動は、固定資産の取得や売却、資産運用などに伴う現金の動き

III 財務活動は、借入金の借入、返済などに伴う現金の動き

キャッシュフロー計算書は、現金と普通預金の動きを示している。
定期預金の動きは、IIの投資活動で示される。

参考

摘 要		平成28年3月31日 A	平成29年3月31日 B	増 ▲ 減 B - A
	現金・普通預金	10.4億円	11.3億円	0.9億円
	定期預金	—	6.0億円	6.0億円
現金・預金総合計		10.4億円	17.3億円	6.9億円

行政サービス実施コスト計算書

I 業務費用	28.0億円
(1) 損益計算上の費用	195.4億円
医業費用	184.7億円
一般管理費	3.1億円
営業外費用	7.6億円
(2) (控除) 自己収入等	▲167.4億円
医業収益	▲164.2億円
その他営業収益	0.0億円
営業外収益	▲2.1億円
臨時利益	▲1.0億円
II 引当外退職給付増加見積額	0.0億円
III 機会費用 地方公共団体出資の機会費用	0.0億円
IV 行政サービス実施コスト	28.0億円

計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため合計で一致しないものがある
表中の「0.0」は単位未満を示す

行政サービス実施コスト 2,801,967,043円／堺市推計人口836,109人 (H29.3)
人口1人あたり 3,351円／年 (H27 4,875円／年 H26 1,978円 H25 1,409円／年)

平成28年度決算昨年度比較

単位：億

	平成27年度 決算（ア）	平成28年度 予算（イ）	平成28年度 決算（ウ）	昨年度との差額 （ウ）－（ア）	予算と決算の差額 （ウ）－（イ）	予算との比較
営業収益 A	159.0	173.9	183.9	24.8	9.9	
入院収益+外来収益	137.8	150.0	159.6	21.8	9.6	単価の増加によるもの8.0億 患者数の増加によるもの1.6億
運営費負担金	15.1	17.4	17.4	2.3	0.0	
その他（室料差額・補助金等）	6.1	6.5	6.8	0.7	0.3	
営業費用 B	174.7	174.8	187.7	13.1	13.0	
給与費	85.5	87.1	91.7	6.2	4.6	対入外比率 58.1%→57.5% 対医業収益比率 56.3%→55.8% 退職引当金の割引率変更による影響額3.3億円 増員（33名）による影響額1.3億円
材料費	40.8	41.1	46.6	5.8	5.5	対入外比率 27.4%→29.2% 対医業収益比率 26.6%→28.4% 2.6億は収益に比例 高額薬品（オプジーボ1億円） OP関連診療材料の増加等
経費	28.4	25.4	25.9	▲ 2.5	0.5	対入外比率 16.9%→16.2% 対医業収益比率 16.4%→15.7%
研究研修費	0.7	0.8	0.8	0.1	0.0	
減価償却費	19.3	20.4	22.8	3.5	2.4	1円償却影響額2.3億
営業収支 A-B=C	▲ 15.7	▲ 0.9	▲ 3.9	11.7	▲ 3.1	
営業外収益 D	4.5	3.2	3.1	▲ 1.4	▲ 0.1	
営業外費用 E	8.3	6.8	7.6	▲ 0.7	0.8	
営業外収支 D-E=F	▲ 3.8	▲ 3.6	▲ 4.5	▲ 0.7	▲ 0.9	
経常損益 C+F=G	▲ 19.5	▲ 4.5	▲ 8.4	11.0	▲ 4.0	
臨時利益 H	6.0	0.0	1.0	▲ 5.0	1.0	少林寺宿舎売却益
臨時損失 I	7.8	0.0	0.0	▲ 7.8	0.0	
臨時損益 H-I=J	▲ 1.8	0.0	1.0	2.8	1.0	
収益的収支差引 G+J	▲ 21.3	▲ 4.5	▲ 7.4	13.8	▲ 3.0	

平成29年度に向けて

平成29年度は

経常収支における収支均衡を目指す（特殊要因を除く）

（1）医療材料費の抑制を目指す

術中使用材料等の適正使用、後発薬への変換

（2）一般管理費の抑制を目指す

光熱費、事務関係費、人件費特に委託費の見直し

（3）診療報酬の適正請求

診療報酬請求査定への対策、加算や指定条件の徹底



経常損益 2.4億円赤字

特殊要因（中期計画以降発生）を考慮すると

1円償却影響額（2.2億円）、退職給付引当金影響額（0.2億円）

計画どおり収支均衡